

合同報告会 要旨

開催日時	11月 30日(金) 18時30分 ~ 20時30分		
市町村名	小谷村	グループ名	1班

要旨

松本系魚川高規格道路意見交換会 第1グループ報告

私たち第1グループでは、一回目、二回目と地域の現状を出席者で話し合い、問題点を掘り下げてきました。

切実な生の声と豪雪地に住む事、道路を管理する人達の苦労話が多く出されました。

国道1本しかない地域での事故による交通止めによる渋滞は特にひどく、除雪も出来ず朝まで帰宅する事が出来ない事も数多くありこのようなときに緊急事態が発生したらと思うと、大変な不安であり幼児やお年寄りを抱える出席者からの切実な意見が出されました。

1日も早くスムーズな通行が出来る様にとの意見が全体をしめていました。スキーヤーも、これから大阪へ京都へ帰りた方も渋滞に巻き込まれ、せっかくのスキー場での楽しかった思い出が大きなイメージダウンとなっていまい関西方面、北陸方面と大きなネックであります。

さらに小谷住民は、あの7.11災害でも国道、JRの寸断により大変な不便と不安を長い間にわたり味わい、道路の重要性を嫌と言う程体験してあります。

また一次改良は済んでいますが、産業道路と化しております雨中地区のバイパスの必要性、小谷道路の早期改良と切実な意見が強く出されました。

その中でも首都圏から早く目的地にとの高速圏からはずれた大北の地であり、一日も早く決定をいただき広域観光をふまえた道路交通網の確保が重要であり、自動車道インター10Km以内は工場の透地人工増も目を見張るものがありその重要性を示しております。

三回目、11月8日の話し合いの中では、11月2日信毎掲載の松本系魚川道路ルート案、県が概要を初公表との記事について多くの皆さんが関心を示し、建設事務所から説明を求めました。

一回目の資料にあります様に事業費も掲載されたとのことであり、また前回までの意見集約をし今後どのように取り組むべきであるかとの掘り下げをし、意見を聞く事としました。

それぞれの建設的な提案がされました。

1. 部には多く問題はあるが、大町以北は国道一本なため、一日も早く調査区間への格上げしていただく様運動を進めるべきである。
2. 魚川市、白馬村、大町市等近隣市町村との連携を取り、地域振興計画との整合した運動が必要である。
3. 署名運動も平行して行い地域の声を示して運動をすすめるべきである。ほぼこの3点に集約されました。

合同報告会 要旨

開催日時	11月30日(金) 18時30分～20時30分		
市町村名	小谷村	グループ名	2班

要旨

松本系魚川高規格道路意見交換会 第2グループ報告

地域高規格道路松本系魚川連絡道路が長い年月をかけて、ようやく概略ルートが計画され、交通過疎の小谷村も21世紀に向かって一步を踏み出したかに感じられたのも束の間、田中県政に代わってから計画が振り出しに戻されました。

このことは小谷村の将来にとっては無論のこと、我々村民にとっても大打撃であり、まさに飴をもらって泣きやんだ子供から、飴を取り上げられた心境でありました。

そんな矢先での意見交換会であるからして、第一回目は最初からやんごとなき気持ちをぶつける意見が多かったため、意見を統一するために高規格道路についての賛否を問い、全員が賛成であることを確認した上で『小谷村にとって高規格道路がなぜ必要か』を話し合うことにしました。

沢山の意見が出された中でいくつかをご紹介します。

まず一つ目として、他市町村と連結できるたった一本の生活道路である148号線も、今や危険と隣り合わせの産業道路と化してしまった事実は、小谷村民に限らず148号線を利用する人は誰もが知るところであり、それらを解消するためにも高規格道路が必要である。

二つ目として、7.11災害には、あらゆる面で大打撃を受けたことは言うまでもないが、避難するにもその道路すら確保できなかった現実、また、148号線、大系線が不通となり、物資の流通は基より、観光、医療など全てが閉ざされ不安な日々を送ったことは記憶に新しい。

三つ目として、7.11災害時には、人命尊重を第一に考えた砂防堰堤等による治山治水工事のおかげで、幸いにして人命被害に及ぶことはなかったものの、このたびの田中県政の『脱ダム宣言』によりそれすらも危ぶまれる。そのためにも万が一の時には、安心して避難できる高規格道路の実現が必要だ。などなど、このほかにも沢山の意見が出されましたが、高規格道路の必要性を切実に訴える、私たち第2グループ全員の意見は、進行役でもある私には悲痛な訴えにさえ感じられました。

いずれにしても、先が見えないまでも、小谷村にとって高規格道路は絶対に必要だという前提に立ち、第二回目の意見交換会では、『高規格道路の早期実現のためには何が必要か』、そして『小谷村にとって理想的な高規格道路とはなにか』、この二つのテーマに絞り話し合うことにしました。

そしていよいよ二回目の意見交換会が行われ、『高規格道路の早期実現のためには何が必要か』をテーマとして話し会ったおりには、小谷村にとって高規格道路がなぜ必要かを関係官庁に提言し、建設にあたっての必要最低限の要望事項を示し、官庁の方々に小谷村の現状をご理解していただいたうえで、早急にルートを決定していただき、必要としている小谷村から調査を開始し、工事を着手していただく。そのためには現在ある期成同盟会等の充実をはかり、陳情等住民全体の活動を推進していく必要があるといったところで意見がまとまりました。

合同報告会 要旨

開催日時

11月 30日(金)
18時30分 ~ 20時30分

市町村名

小谷村

グループ名

2班

要旨

つぎに、『小谷村にとって理想的な高規格道路とはなにか』について話し合いましたが、これに対してもさまざまな意見が出されました。

安全と利便性は無論のこと景観等を考慮しトンネルを主体としたルートがいいな。観光、産業、経済、医療、JR大糸線等を考慮した連絡道路のことも同時に検討する必要もあるよ。インターは最低2カ所、いや、森上にできれば北小谷一カ所でも良いよ。東ルート良いな。いやいや西ルートが良いよ。観光名所としてのループ橋があってもいいな。などなど夢と希望に満ちた意見が出されたわけですが、現実には『計画が振り出しに戻された高規格道路』であることが分かっている中での、期待と夢が現実として叶えられることを願っての語らいの一時でした。

私たち第2グループの意見交換会は、一回目が『小谷村にとって高規格道路がなぜ必要か』、そして二回目が『高規格道路の早期実現のためには何が必要か』『小谷村にとって理想的な高規格道路とはなにか』について話し合いを持ったわけですが、反対者や田中県政に小谷の実情は分かってもらえない、ではなく、先輩諸兄が語らい築き上げてきた信念を引き継ぎ、過去の歴史と現状をふまえながら、あるべき姿を求め基本構想を策定しながら、皆さんのと共に訴え活動していきたいと考えます。そしてその活動がいつの日か、高規格道路を実現させ、交通過疎の小谷村に『安心』の二文字として実を結ぶことを確信し、私の意見発表とさせていただきます。

合同報告会 要旨

開催日時	11月30日(金) 18時30分～20時30分		
市町村名	小谷村	グループ名	3班

要旨

第一回 意見交換会 (要旨)

開催日時 9月28日(金) PM6:30~8:30

市町村名 小谷村 第3グループ

出席者 14名

出席者全員からの意見を聞くべく進行に務めた。

(意見)

1. 小谷地区とし早期に高規格道路に着手して欲しい。
2. 問題のある所は後まわしに、北部から着手して欲しい。
3. 小谷村の人口は一時期に比べ半減した。しかし今日までの生活は大自然との共存共栄を基に生きて来た。このことを基本に現在生活、産業、観光、防災等の面からも148号1本しかない現状で7年災の反省や20年30年先を考え、高齢化や人口減が今後想定されるが、通学や通勤等を考慮し利便性の高い、高規格道路の早期実現を願いたい。
4. 高規格道路の広報をもっとして欲しい。村の方でも
5. 9月14日、若者グループによる高規格道路につきアンケート調査の報告をされた。1200名を対象とし回答された方は532名で44.3%であった。内容は、高規格道路が必要と答えた方は、68.6%、不必要17.5%、分からない13.7%等の結果報告がされた。
6. 雨中地区に於いては騒音がすごく夜寝られない。又、テレビが良く聞こえない。工業用車両が多く、このままでは日常性格がおびやかされ、非常に不安である。まづ現道整備を早急にし、平行して高規格道路の早期着工を願いたい。
7. 冬期間の交通渋滞解消を是非してほしい
8. 南部に於いては池田町寄りの方がよい、小谷村では最低2カ所のインターを設けて欲しい。
9. 交通量調査等により148号は交通量が多く、交通弱者のためにも現道バイパスや高規格道路の早期実現を願いたい。
10. 冬場の交通渋滞を解消して欲しい、観光面では死活問題だ。
11. 高規格道路が実現し、通勤圏が広がれば経済的に考え大変ありがたい。
12. 小谷村は148号線1本しかない南部(南安曇)は困らないが北部は違う。是非早期着工を願いたい。
13. 交通量の増加のわりには、148号の改良が遅れている。是非早期改良を望む。
14. 長野道の開通など北信地方は良くなった。小谷村は道路整備等で置いていかれ、特に観光面での打撃は大きい
15. 高規格道路の調査は、どのくらい進んでいるのか。検討ばかりしていて前に進まないのではないのか。
16. 148号線の危険地区におけるバイパス的道路を是非考えて欲しい。
17. 高規格道路に大賛成。今晚集まった人達はほとんど賛成だと思う。23Km調査区間をもっと延長して大町以北でも調査区間の指定を受けるべく運動をすべきだと思う。

合同報告会 要旨

開催日時

11月 30日(金)
18時30分 ~ 20時30分

市町村名

小谷村

グループ名

3班

要旨

18. 具体的に実現するならば期間はどのくらいかかるか。
19. 救急車等で医療機関への時間短縮が急務である是非早期着工を願いたい。
20. 人口の少ない地域程高規格道路が必要だと思う。早期実現してほしい。観光客など高速道等利便性の高い方へ流れてしまう。
21. 高規格道路が欲しい。小谷村にすんで30年になる。高校や病院などに時間がかかり過ぎる。交通渋滞も心配だ。
22. 産業道路化しつつあり、大型車が増加している。危険度や騒音が心配だ。
23. 広域で経済活動が出来る為にも高規格道路が必要だ。又、小谷村も2本の幹線道路が最低必要。
24. 昭和62年に策定された高速道の計画から漏れたが、今回見送られたらどうなるのか。
25. 雨中地区において夜間車両の通行調査をしたが、益々増加の傾向にあり特に車の大型化や速度超過、騒音など危険度が高まっている。
26. 高規格道路は北部(小谷)の方から着手できないか。又、このような計画は出来ないか。
27. 糸魚川市では高規格道路の計画はどの位進んでいるか。
28. この懇談会の結論はいつごろ出す予定か。以上の意見であったが第3グループでの務めとし「高規格道路賛成、早期着工のみ」に参加者全員賛成で閉会した。

合同報告会 要旨

開催日時

11月 30日(金)
18時30分 ~ 20時30分

市町村名

小谷村

グループ名

4班

要旨

松本系魚川高規格道路意見交換会 第4グループ報告

全体として是非とも実現して欲しいとの強い要望意見が大方であった。

- 冬期間(外沢トンネル~三ヶ村間)の交通確保を。
- 雨中地区の安全交通をとの願いが非常に強い。(バイパスを是非早期に)
- 豊科~系魚川への高速に近い道で結ぶことが大切。
- 災害時に1本の道では普通にすぐなるので2本の道が必要。
- 南部では高規格道の必要性があまりなさそう。北部の小谷村から工事が始められるよう望む。

等々高規格道路の必要性を強く望む声がほとんどであった。その中で次のような心配の声も聞かれた。

- 高規格道路はどのような道なのかよく分からない。
- 小谷村で1カ所又は2カ所しか出入口がなくて、はたして安全で都合の良い道路になり得るのか。
- 実現が果たしてされるのか。いつになったら実現するのか。
- なぜ北部(小谷)の方から計画されないのか。
- 知事を動かすような運動もしないとだめなのでは。
- 高規格道も大切だが、雨中地区の安全の為にバイパスなどの改良がすぐにでも必要である。

などなどの意見がだされていた。